

ハンブ設置による安全対策効果の検証実験を行います。

概要

下図の場所につきまして、ハンブ設置による安全対策効果の検証実験を国主導で行う予定です。

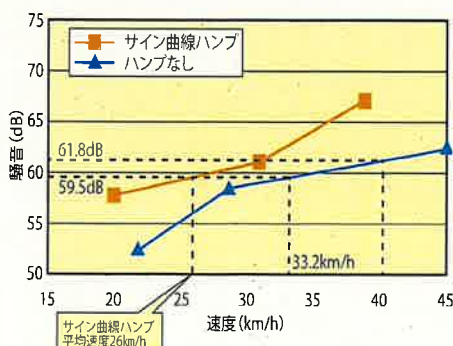
今回の検証で設置するものは横断歩道型のハンブであり、設置期間は11月から1か月間を予定しています。



ハンブの特徴

ハンブとは、交通安全対策を目的とした道路上の凸部のことです。凸部があることで、ドライバーの通行速度を落とすことを目的としています。

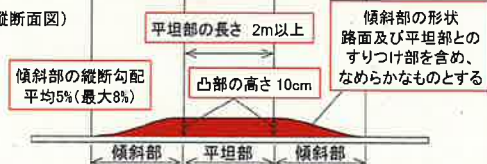
また、今回設置するハンブはゴム製であり、車両通過時の騒音、振動を吸収し、最小限に抑えるものです。



(平面図)



(縦断面図)



設置前の平均速度は約40km/hで騒音値は61.8dB。設置時の平均速度は約26km/hで騒音値は59.5dB。ハンブの設置によって約2dB騒音が低減しました。
※第20回交通工学研究発表会(ハンブ形状に関する実験的研究)より抜粋